



▲出初式の様子

1 年の無火災祈り 出初式開催

広野町消防団と婦人消防隊の出初式が1月6日、広野町中央体育館で開催されました。出初式では、団員が真剣な表情で通常点検と機械器具点検を行いました。また、5年以上勤続の優秀団員・隊員6人に山田町長から表彰状が贈られました。最後に、町内の二ツ沼総合公園に会場を移して放水訓練も実施しました。消防団のみなさんは、年末の行方不明者の捜索や夜警など、日々広野町のために活動しています。

第3回地域コミュニティ形成実践講座

平成24年度相双地域雇用創造推進事業（厚生労働省委託事業）「第3回地域コミュニティ形成実践講座」が1月10日、広野町公民館において開催されました。

今回の講座には、12の方が参加しました。

永沢 映氏による「市民が主体となり地域課題を解決するコミュニティビジネス」をテーマとした講演会を聞いた後、各グループに分かれ、広野の生活と仕事を取り戻すために、必要なことについてワークショップを行い、意見を交換しました。



▲地域コミュニティ形成実践講座の様子



▲反射シールを手渡す松本功氏

靴用反射シール寄贈

富岡地区防犯指導隊広野分隊長の松本功氏が1月16日「靴用反射シール」65枚を広野小学校に寄贈しました。

この「靴用反射シール」は、1月6日、榎葉町の道の駅で行われた「110番の日」に双葉警察署からいただいたものです。



減容化施設建設説明会



▲減容化施設説明会の様子

災害廃棄物および除染廃棄物処理のための減容化施設建設に係る説明会が1月20日に広野町中央体育館で開催されました。建設予定地はJヴィレッジスタジアムと国道6号線に挟まれた町有地となります。復旧・復興を図る上で早急に建設しなければならない施設であり、町民のみなさんからいただいたご意見をもとに周辺環境に配慮した施設建設に努めますので、ご理解くださるようお願いします。

小 淵財務副大臣来町

小淵財務副大臣が1月9日、広野町を訪れ、除染をはじめとする町内の状況を視察しました。山田町長は、町内の被災状況について小淵財務副大臣に説明し、国への財政支援を求める要望書を手渡しました。

町では、引き続き町民が帰還する上で必要な支援を国に対し、要望していきます。

要望書の内容は以下のとおりです。

1. 東京電力福島第一原子力発電所の収束に向けた協力への支援
 - (1) 町内に点在する廃炉・除染関連事業者の安定化と集積に必要な町主導の土地取得・造成を可能とする財政支援を講じること。
2. 福島県双葉郡の復興に向けた広域行政への支援
 - (1) 双葉地方広域市町村圏組合の事業継続に必要な安定的な財政基盤確立に向けた財政支援を講じること。
 - (2) 双葉地方水道企業団の事業継続に必要な安定的な財政基盤確立に向けた財政支援を講じること。
3. 広野町の復興に向けた実効性のある支援
 - (1) 復興計画実現に必要な町主導の土地取得・造成を可能とする財政支援を講じること。
 - (2) 町民帰還の前提として生活再建に不可欠な商業・医療体制の復旧に向けた財政支援を講じること。
 - (3) 町民の帰還を促進するため、町民の高速道路無料化を継続すること。
 - (4) 平成25年度以降も震災復興特別交付税を継続すること。
 - (5) 放射性物質を除去し水道水の安定供給のための施設整備への財政支援を講じること。
 - (6) 災害廃棄物などの減容化施設の早期設置に向け、環境省との緊密な連絡・調整を行うこと。
 - (7) 町民の生活が安定するまで確実な賠償を継続すること。



▲小淵財務副大臣に要望書を手渡す山田町長